

学校名	川内村立川内中学校	校長	高濱 俊彦
住所	福島県双葉郡川内村下川内宮渡 2 9		
TEL	0240-38-2032	ホームページアドレス	http://schit.net/kawauchi/kawauchi-jhs/

タイトル

『デジタルツールを活かして、学びを深める子どもの育成』

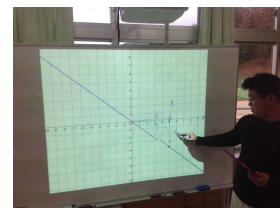
取組の概要

iPad, 電子黒板, インターネットなどのデジタルツール (ICT機器) を生徒の学習に生かせるよう研究を進めてきました。

内容

<1. ICTの導入>

授業での利活用の広がりに合わせて、段階的にiPad, iPad miniなどICT機器を導入し、AppleTVを使って電子黒板に画面を映し出したり、校内LAN無線環境を整備してインターネットを閲覧したり、デジタル教科書などのコンテンツやプリンターなどを利用できるようにしました。



<2. 研究の推進>

要請訪問, 校内研修や先進校視察を通してICTの活用について研究を深めました。また, 先生方の授業を生徒の「優位感覚」から捉え直し, ICTの利用に生かす試みもしました。



<3. ICTの活用事例>

(1) iPadを使った授業

- ・音楽…リトミックアプリで一人一人の音感を養う。
- ・体育…インターネットでダンスの動画を調べさせ, 現代的ダンスに取り組む。
- ・技術…iPadのカメラでコマ撮り写真を撮り, アニメーションを作成。
- ・美術…製作プロセスをタイマーアプリで管理。



(2) 電子黒板を使った授業

- ・数学…一次関数などをフラッシュ型教材として作成し, 電子黒板で提示。
- ・英語…YouTubeを利用して, 新作映画のトレーラーなどの資料を提示。



(3) インターネットを使った授業

- ・理科…資料集に写真が載っていない動植物などを画像検索して提示。
- ・家庭科…通信販売のHPを見て, 消費者生活と衣生活の両面から学習。



研究のまとめ

- 創意工夫された多くの実践事例が集まり, またそれを現職通信で共有しました。先生方のICTへの理解に合わせて段階的に導入したことで, 無理なく研究を進めることができました。
- 各教科の授業や特別活動など多方面でICTを活用することで, 生徒のICT活用スキルが向上し, 自分たちで課題を見つけながら集中して取り組む場面が増えてきました。これからの授業改善は, ICTと黒板のハイブリッド型授業が効果的であることが明らかになりました。

※本研究は, 公益財団法人福島県学術教育振興財団の研究助成により実施しております。